

平成25年度第1回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成25年5月23日（木） 10:00 ～ 11:01

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

東川 薫

伊藤由美子

赤木 邦男

佐藤 久善

藤田 素弘

事務局（5名）

城田 直毅（総務部長）

近藤 浩（契約監理課 課長）

丹羽 孝至（ 〃 課長補佐兼調達係長）

伊藤奈雄（ 〃 契約係長）

服部 博美（ 〃 契約係）

発注担当課（4名）

松田 幸寿（工務課 課長）

加藤 順一（ 〃 主幹）

堀田 弘美（施設課 課長）

中村 秀俊（ 〃 主幹）

事 項

1 開 会

【事務局】

本日は、ご多用の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

先月、4月25日には、市長まで意見書をご提出いただきまして、誠にありがとうございました。改めましてお礼申し上げます。また、同日、委員の任期満了に伴う委嘱状の交付式をおこないましたが、赤木委員が欠席でございましたので、委員会開催に先立ちまして、委嘱状の交付をさせていただきたいと思っております。

（委嘱状の交付）

【事務局】

改めまして、平成25年度第1回入札監視委員会を開催させていただきます。

最初に、総務部長からご挨拶を申し上げます。

【事務局】

改めまして、おはようございます。総務部長の城田でございます。

委員の皆様方には、大変お忙しい中、平成25年度第1回の入札監視委員会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

当委員会は平成16年に設立され、今期で第5期目となるところでございます。委員の皆様方には、当委員会の委員としてご就任をお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただき、重ねてお礼を申し上げる次第でございます。

また、先月25日には当委員会から第4期の審議内容を踏まえて本市の入札契約制度に関する貴重なご意見、ご提言をいただいたところでございます。いただきましたご意見、ご提言につきましては、本年度速やかな改善に取り組んでまいりたいと考えております。委員の皆様方には、引き続きよろしくお願いを申し上げます。

さて、我が国の経済情勢は、安倍政権の経済政策アベノミクスによる円安、株高などにより、5月の月例経済報告では景気の基調判断を2カ月ぶりに引き上げるなど、景気回復の期待感が高まっておるところでございます。しかしながら、地元経済の波及効果は不透明であり、今後とも公共工事を中心とする地元企業の経営環境は厳しい状況が続くものと懸念いたしております。

これらのことを踏まえ、本市における入札契約制度につきましても、引き続き適正化を図るため改善策が求められるものと考えております。委員の皆様方には、ご専門の立場から今後とも忌憚のないご意見を賜りますことをお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 議 事

(1) 委員長・副委員長の選任について

【事務局】

本日の議事につきましては、お手元の事項書に基づき進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条の規定を満たし、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

次に、議事進行でございますが、5月1日付で改めまして委員にご就任いただきました初めての委員会となりますので、委員長を選任をしていただくまでは事務局のほうで進めさせていただきます。

なお、議事の(1)につきましては、人事案件でございますので非公開とさせていただきます。ご了承のほどよろしくお願いいたします。

それでは、議事(1)委員長・副委員長の選任でございますが、選任につきましては、桑名市入札監視委員会条例第4条第2項の規定により、互選により決めていただくことになっておりますので、ご意見等がございましたらご発言をお願いしたいと思います。

【委 員】

委員も引き続きですので、引き続き東川委員に委員長をお願いしたいと思います。

【事務局】

ほかにご意見がございましたら頂戴したいと思います。

【委 員】

(異議なし)

【事務局】

東川委員、お引き受けをいただけますでしょうか。

【委 員】

お受けいたします。

【事務局】

ありがとうございます。

東川委員に委員長をお願いしたいと存じます。

(委員長席への移動)

【事務局】

それでは、東川委員長から就任のご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

先日、市長のほうに提言をさせていただきまして、委員のメンバーとしては引き続きということですが、
れども、また1つの区切りとして新鮮な気持ちで審議に当たっていきたいと思っています。

市民の立場からすると、なるべく安価で、なおかつ質の高い工事、あと、市内業者の方に言わせると、
適正な利潤の確保、いろんな要素がありますので、そのバランスをどうとっていくかというのは常時考え
続けていかないといけないと思います。また委員の皆様にはご協力のほうをよろしくお願いいたします。

【事務局】

委員長、どうもありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事を進行
していただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、続きまして、副委員長の選任を行いたいと思います。

副委員長の選任のほうも条例の規定によりまして委員の互選で定めることになっております。皆様、何
かご意見等はございませんでしょうか。

【委 員】

先ほどと同様に、引き続き伊藤委員にお願いできませんでしょうか。

【委員長】

ほかにご意見はございませんでしょうか。

【委 員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、特にないようですので、伊藤委員、お引き受けいただけますでしょうか。

【委 員】

了承いたしました。

【委員長】

引き続き伊藤委員に副委員長をお願いいたします。

それでは、次の議題に移りたいと思います。

本日の会議は一般公開となっておりますが、現在、傍聴の希望をされる方はお見えになっていらっしゃ
らないようですので、途中傍聴希望者がみえましたら、その時点で傍聴の可否についてお諮りをさせてい
ただきたいと思います。

(2) 平成25年度入札制度改正について

【委員長】

それでは、議事(2)平成25年度入札制度改正について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、議事(2)平成25年度入札制度改正についてご報告させていただきます。

資料の1ページをご覧ください。

まず、1点目でございますが、地域経済の活性化及び雇用の促進を積極的に推進するために、前年度に引き続き、緊急経済対策として市内優先発注を1年間延長し、平成25年度末までといたしました。

2点目といたしましては、技術者の有効活用の促進、また、入札契約事務の効率化を図るために、これまでの発注スケジュールの見直しを行い、公告から契約締結までに要する期間を短縮いたしました。

次に、資料の2ページをご覧ください。

3点目といたしまして、先日ご提出いただきました意見書でも触れていただきましたが、最低制限価格等の算出に係る中央公契連モデルの運用につきまして、これまでの平成20年度モデルから平成23年度モデルへと見直しをいたしました。

次に、4点目といたしまして、昨年6月に本市でも導入をいたしました地域建設業経営強化融資制度につきまして、建設投資の大幅な減少、厳しい金融環境等により依然として厳しい経営環境に直面しております中小中堅建設業者の資金調達を引き続き支援するという国において制度のほうは1年延長されましたので、これを受けまして本市でも制度の運用を平成25年度末まで1年間延長いたしました。

最後に、資料3ページをご覧ください。

5点目といたしまして、総合評価落札方式の工事成績の評価方法ということで、事業者の工事成績が評価点に直接反映されるように、これまでの5段階評価から計算式による評価方式へと見直しをさせていただく予定であります。例といたしましては、これまで平均工事成績が66点と70点の事業者があれば、双方8点という形で同一の評価点となっていましたが、計算式で算出することによりそれぞれ4.8点と8点といったような評価点に差がつくような方式へ変更をさせていただくものでございます。

以上5点の制度改正についてご報告させていただきましたが、5点目の改正につきましては、来月、6月1日から運用をさせていただく予定をしております、他の4点につきましては4月から運用をさせていただいております。

【委員長】

それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いいたします。

【委員】

5番目の平均工事成績点について、どのような評点ですか。

【事務局】

工事ごとに完成後の検査にて、評点項目に基づき成績点をつけております。過去3年間の成績点の平均を評価いたします。

【委員】

ありがとうございます。

【委員長】

中央公契連モデルの運用の見直しということで、方向性としては価格を上げるということですが、その理由は。

【事務局】

工事品質の低下や下請業者へのしわ寄せ、労働条件の悪化などを防止するため、最低制限価格の算出に係る中央公契連モデルの運用を見直しました。

モデル式の中に、現場管理費という項目がありまして、この現場管理費の掛け率を、60%から80%

へ見直したことによって、全体的に4%程度上昇し、発注見通し試算で約1億円程度の影響が出るとわれます。しかし、それ以上に先ほど説明させていただきました理由と、県下の市町においても、同様の公契連モデルを採用していることから、本市においても見直しをさせていただきました。

【委員長】

わかりました。

ほかにはいかがでしょうか。

【委 員】

中央公契連モデルについては、毎年見直しがされているんですか。

【事務局】

毎年ではありません。今回採用した23年度モデルより以前に21年度モデルが公表されております。

【委 員】

桑名市は20年度モデルのまま見直しされていなかったのですか。

【事務局】

そのとおりです。本来、公契連モデルの見直しがなされれば、国や県が見直しを行いますので、それに準じて、他市町も見直しを検討するのですが、当然、市の財政状況等も加味していく必要がありますので、その点を踏まえながらの判断になります。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、ただいまの報告につきましては、これで終了したいと思います。

（３）入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

では、次に、議事（３）入札及び契約手続きの運用状況について、事務局から報告をお願いします。

【事務局】

資料４ページをご覧ください。

まず、１点目の指名停止の状況でございますが、今回の審議の対象期間である平成25年1月から3月までの3カ月間において、桑名市では6件の指名停止を講じております。この中から桑名市が独自で指名停止を講じた案件についてご報告させていただきます。

それでは、表中一番右の案件になりますが、桑名市リサイクル推進施設にておこなわれている市民から無償で日用品等の物品を譲り受けて規定単価で譲り渡すリユース事業において、施設の企画運営業務を受託している特定非営利活動法人輪リサイクル思考という法人の当時の理事が、リユース物品を展示する前に購入する禁止行為をおこなったものです。この行為が、指名停止要件の不正または不誠実な行為に該当し、桑名市に対する信用を著しく失墜させたとして、当該法人に対して2カ月の指名停止を講じております。

なお、ほかの5件につきましては、三重県等がおこなった指名停止措置に合わせて、桑名市でも同等の措置を講じたものでございます。

続きまして、2点目の談合情報の状況でございますが、対象期間内においては特にございませんでした。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、質問、意見等がありましたらお願いいたします。

【委 員】

今回、桑名市独自で指名停止をおこなった輪リサイクル思考という法人について、桑名市では、どうい

った業務に入札参加されていますか。

【事務局】

具体的に言いますと、クルクル工房というリサイクル施設の運営を受託しておられます。

その他事務の事業委託、公共サービス業、調査検査業務といった業種に指名願いの登録があります。

【委員長】

ほかはいかがでしょう。

それでは、ただいまの説明につきましては、これで終了させていただきます。

（４）抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、次の議事の（４）抽出事案の審議に移りたいと思います。

審議に先立ちまして、抽出案件３件について説明を得るため、入札監視委員会条例第６条の規定に基づき、関係者の出席を求めたいと存じますが、いかがでしょうか。

【委 員】

（異議なし）

【委員長】

それでは、関係者の出席を求めます。よろしくお願いします。

（工事担当課職員 入室）

【委員長】

最初に、審議に当たり、私が３件抽出させていただきましたので、その抽出理由を説明したいと思います。

まとめでご説明いたします。第１の案件ですが、水道施設流量・残塩計増設及び末端多項目水質監視装置設置工事でございますが、事後審査型条件付一般競争入札ですが、応札業者の数が少ないと思われたので抽出いたしました。

２件目、福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事でございますが、これも入札方法は事後審査型条件付一般競争入札ですが、応札業者の中で失格が多いと思いましたので抽出いたしました。

３つ目の案件ですが、江場ポンプ場１号エンジン過給機修繕について、これは随意契約となっておりますことと、落札率が高かったということを理由にしております。

以上３点を抽出いたしましたので、よろしくお願いいたします。

抽出案件１ 水道施設流量・残塩計増設及び末端多項目水質監視装置設置工事

【委員長】

それでは、第１案件、水道施設流量・残塩計増設及び末端多項目水質監視装置設置工事につきまして、まず、発注担当課より工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から入札方法などの説明をお願いいたします。

【担当課】

施設課でございます。

工事の概要をご説明申し上げます。

本工事は、上水道の各水源における取水量を詳細に把握することと同時に、施設全体の配水池及び給水栓の水質の安全管理を確保するために行ったものでございます。

概要といたしましては、電磁流量計設置が10台でございます。残留塩素計が10台、多項目水質監視装置10台でございます。

【事務局】

続きまして、入札方式等の説明をさせていただきます。

資料の9ページをご覧ください。

契約方法につきましては事後審査型条件付一般競争入札で、この案件は低入札価格調査制度の試行案件でございます。

入札参加要件といたしましては、電気工事業の許可を有する者で、所在地要件を県内事業者までといたしております。また、3,000万円以上の下請契約を予定する場合は一般許可の業者は不可としております。

技術者の配置につきましては、現場代理人及び専任の主任技術者を配置することとし、技術者につきましても、3,000万円以上の下請契約を予定する場合は主任技術者にかえて監理技術者を専任配置することとしております。

完成工事高につきましては、予定価格の2分の1以上であること、また、工事实績といたしまして、平成14年度以降に官公庁元請で今回の対象機器の設置工事の実績を求めています。

ほかには、低入札で契約を締結する場合の技術者要件につきまして、公告に示すとおり別途要件を定めております。

入札の執行日につきましては平成25年2月15日、入札参加業者は1者で、契約金額は税抜き2億780万円でございます。

入札の経緯及び結果ですが、先ほどの1者が応札いたしまして、開札の結果、調査基準価格以上予定価格の範囲内であったため、この業者を落札候補者とし、入札参加資格を審査した結果、適格でありましたので、当該事業者を落札者と決定し、後日契約を締結いたしました。

資料の10ページに入札経過表を添付いたしましたので、あわせてご参照ください。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見はありますでしょうか。

【委 員】

機器の設置について、市内全体を一括で契約されてみえますが、その理由は、区域ごとに分けて発注することは検討されましたか。

【担当課】

やはり、維持管理のコスト面であったり品質の統一性から、全体で発注するほうがメリットが大きいということで、一括で発注いたしました。

【委 員】

施工可能な業者というのは、この落札業者1者だけですか。

【担当課】

入札参加の可能な業者は、市内でも数者あると思います。しかし、一般競争で発注するに当たっては、数が少ないということで、県内まで地域要件を拡大して発注いたしました。県内業者を入れると50者以上が該当すると見受けられます。

【委 員】

応札が低調だったという理由について、何か考えられることはありますか。

【担当課】

今回の案件につきましては工期が4年間の工事になります。配置技術者について、一定期間の専任配置が必要になりますので、技術者の確保が困難と思われたのではないかと推測しております。

【委員長】

今回は結果的に調査基準価格を下回らなかったわけですが、それについては何かお考えはありますか。

【担当課】

落札率が87.96%と一般的な落札率であることがら、この積算については適当であったのではないかと判断いたしております。

【委員長】

わかりました。

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては特に問題ないということにいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【委員】

(異議なし)

抽出事案2 福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事

【委員長】

第2案件、福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事について、先ほどと同様に発注担当課より工事概要の説明をしていただいて、その後、事務局から入札方法などの説明をお願いします。

【担当課】

工務課でございます。

資料の11ページをお願いします。

福島城下幹線高塚町枝線污水管路施設工事につきましては、污水管Φ150ミリとΦ200ミリの硬質塩化ビニール管を布設するものでございます。工法につきましては開削工法、上から掘って布設をしていくという工事でございます。この工事につきましては、下水道工事と水道工事を合算して発注しております。水道工事につきましては、配水管布設工HPPEというもので、これは配水をポリエチレン管という管を使用させていただいております。

【事務局】

続きまして、入札方式等の説明をさせていただきます。

資料は13ページをご覧ください。

契約方法につきましては、事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格は土木工事業の許可を有する市内業者で、経審点数650点以上の者としております。

完成工事高につきましては予定価格の2分の1以上であること、なお、3,000万円以上の下請契約を予定する場合は、一般許可の事業者は不可としております。

技術者の配置でございますが、現場代理人及び専任の主任技術者を配置することとし、技術者につきましても、先ほどと同じように、3,000万円以上の下請契約を予定している場合は主任技術者にかえて監理技術者を配置することとしております。

工事実績につきましては、平成14年度以降、官公庁元請で土木工事一式工事の実績を有することとしております。

入札執行日は平成25年3月22日、入札参加事業者は18者で、契約金額は税抜き2,870万9,0

00円でございます。

入札の経緯及び結果につきましては、14ページ、15ページのほうに経過表をつけてございますけれども、18者から応札があり、そのうち12者が最低制限価格を下回ったため失格としております。有効な札のうち最も低い価格で応札した業者を落札候補者として事後審査を行った結果、適格でありましたので、当該事業者を落札者と決定いたしまして、後日契約を締結しております。

16ページに最低制限価格の算出根拠表を添付しておりますので、あわせてご参照いただきますようお願いいたします。

【委員長】

それでは、ご質問、ご意見等はございますか。

開札の結果、最低制限価格が変動したことにより、失格が12者と多くなりましたけれども、それについてはいかがご意見はございますか。

【担当課】

昨年度の3月に発注した案件になりますが、この時期の入札は本数が少ないこともあり、業者のより一層の企業努力を応札額に反映させたと思われませんが、その結果が逆の失格という形になったのではないかと推測しております。

【委員長】

ほかにご意見はいかがでしょうか。

それでは、この案件について問題なしということでよろしいでしょうか。

【委員】

(異議なし)

抽出事案3 江場ポンプ場1号エンジン過給機修繕

【委員長】

最後の案件です。第3案件、江場ポンプ場1号エンジン過給機修繕につきまして、同様に発注担当課より工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から入札方法の説明をお願いいたします。

【担当課】

施設課でございます。工事概要をご説明いたします。

本件修繕は、雨水排水ポンプの駆動用ディーゼルエンジンの過給機が腐食したことにより機能低下が発生したため、部品交換及び調整を行い、機能回復を行ったものでございます。内容としては、過給機の部品の一式交換、また、機器の調整でございます。

【事務局】

続きまして、入札方式等の説明をさせていただきます。

契約方法につきましては、1者からの見積りによる随意契約でございます。見積り合せ日は、平成25年1月15日、指名業者は松岡産業株式会社でございます。見積り合せの結果でございますが、松岡産業株式会社より見積書を徴した結果、予定価格の範囲内であったため、後日、契約を締結いたしました。契約金額は税抜き350万円となっております。

【委員長】

それでは、この説明につきまして、ご意見等お願いいたします。

【委員】

このディーゼルエンジンの過給機、納入された業者も当該業者ですか。

また、日常の点検業務についても同様か。

【担当課】

本体の工事や、日常の運転及び点検業務については、別業者に委託しております。

松岡産業においては、本機器のディーゼルエンジン特約店であり、過去にも修繕工事、調整工事などを受託した実績がございまして信頼性が高いということで、今回指名をさせていただきました。

【委員長】

ほかにはいかがでしょう。

【委員】

予定価格350万円については、どのように算出されたのですか。修繕工事は見積りというのも非常に難しいものだと思いますが。

【担当課】

今回のこの修繕ですが、過給機の中の排気ガスが出ることによってタービンが回ります。その過給機の内部が腐食により機能低下を起こしていたため、部品の交換、並びにそれに係る経費について、松岡産業より見積りを徴し予定価格を決定しております。

【委員】

松岡産業でないと、部品の交換は難しいのですか。別の業者でも対応できるのか検討はされたのでしょうか。

【担当課】

先ほど申し上げましたように、本機器ディーゼルエンジンの特約店であり、その機器に精通しているため松岡産業を指名しました。そのような業者は県内においては、松岡産業のみと把握しております。

また、過給機をユニット一式で交換し、ほかの業者に委託することも可能ですが、やはり金額的に相当高いものとなりますので、内部の部品だけを交換することとした経緯がございます。

【委員】

機器について。大体何年物ぐらいですか。

交換時期等は、ある程度決められていますか。

【担当課】

今回の機器は、平成5年に設置しており、約20年経過しております。

定期的に交換するというよりも、日頃の運転状況を監視しながら交換時期を判断いたします。

【委員】

今までに同様の修理はされていますか。

【担当課】

この機種ではありませんが、隣の2号機のエンジンについては、過去にタービン一式を経年劣化で取りかえております。

【委員長】

やはり、松岡産業にお願いしたのですか。

【担当課】

はい。設備一式全部を取りかえる場合は競争性が発生してくるのですが、このディーゼルエンジンにつきましては、責任分解をはっきりさせるために、どうしても特約店、代理店を指名することになります。どうかご理解を頂戴したいと思います。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、この案件につきましては、特に問題はございませんけれども、今、各委員よりご意見を頂戴いたしましたので、今後その方法を検証していただくということでお願いしたいと思います。

それでは、これで3つの抽出事案の審議を終了したいと思います。

次回の審議案件の抽出は、委員名簿順位2番の伊藤委員にお願いしたいと思います。

3 その他

【委員長】

事務局のほうから何かございますでしょうか。

【事務局】

特にありません。

4 閉 会

【委員長】

これで平成25年度第1回の桑名市入札監視委員会を終了させていただきたいと思います。本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。本日はありがとうございました。